

タブレットを活用した授業実践

2年C組社会（地理的分野）

この授業の教材は「地域おこしの知恵」。学習課題は「上勝町の取組を見て、地元の特産物で新しい産業を考えよう」でした。

高齢化・過疎化が進む徳島県上勝町の新しい産業「つまもの」の生産から、北斗市大野地区に新たな産業を生み出し、人口増加を図る取組を考えることが学習課題です。

タブレットを液晶テレビにつないで、上



勝町の取組を動画配信サイトで確認し、必要な情報をノートにメモしていきました。

動画を見ると、上勝町で「つまもの」を生産している方は高齢者の方が多いのですが、パソコンやタブレットを駆使して仕事をしている場面がありました。年齢に関係なく、社会で活躍するためには、タブレット等のICT機器を活用していく必要があるのだと思います。



新たな産業を起こした事例を確認して、二人一組でタブレットを使い、「過疎」「地域活性化」「町おこし」「地域おこし」「地域戦略」をキーワードに、検索を行い、情報を収集しながら、北斗市大野地区でできる新しい産業について考えていきました。

